スタート助成金

6 ミツバ・サロン「喫茶みつばの風」

稲敷市

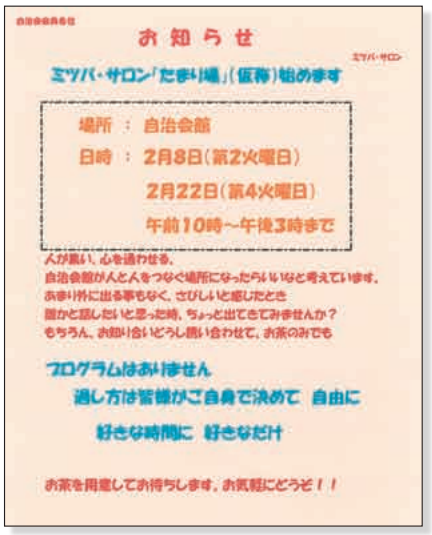
サロン開設年月日	平成22年７月１日
開催日及び開催頻度	「喫　茶」： 奇数月・第４火曜日 「サロンたまりば」： 偶数月・第２・４火曜日
開催拠点	光葉自治会館
代表者氏名	山本　初枝
１回の参加人数	平均40人
１回の運営スタッフ数	平均10人
参加費	100円

事業名

喫茶みつばの風

目　的（趣旨）

◉移住者間の「絆」を深め，閉じこもりがちな人や，高齢者の孤立を防ぐため，様々な人が集まり会話，交流ができる場所を作り，交流の中で，困っている人を見出し，支援につなげたい（民生委員への協力なども）。



お知らせ

ミツバ・サロン「たまり場」（仮称）始めます

場所：自治会館
日時：2月8日（第2火曜日）
2月22日（第4火曜日）
午前10時～午後3時まで

人が集い、心を通わせる、
自治会館が人と人をつなぐ場所になったらいいなと考えています。
あまり外に出る事もなく、さびしいと感じたとき
誰かと話したいと思った時、ちょっと出てきてみませんか？
もちろん、お知り合いどうし誘い合わせて、お茶のみでも

プログラムはありません
過し方は皆様がご自身で決めて　自由に
好きな時間に　好きなだけ

お茶を用意してお待ちします。お気軽にどうぞ！！

対象者や具体的内容

◉住民全体を対象に，少し華やいだ雰囲気の場面設定で，「喫茶みつばの風」，独居者，高齢者対象の憩いの場「サロン」を実施しています。

財源の確保

◉喫茶の利用代，会費，高齢者の自立支援を目的として活動するボランティアグループ「ミツバフレンズ」の活動に対する支援金からの支援。住民のボランティアによる手作りで，お菓子代はかなり切り詰めています。

生活課題への対応

◉1戸建て住宅に居住する高齢者夫婦，独居者が多く，孤立化する傾向が強い居住者間での「絆」を強めることで高齢者への支援を強化しています。

地域の社会資源の活用

◉資格，特技，様々なキャリアを有する人々のグループでボランティア活動し，一定の成果を上げている中，会話，交流の「場」が必要と痛感しこの事業を立ち上げました。自治会館を始め，団地内の設備を活用しています。

継続させるための工夫

◉居住者間の「絆」を深め，誰もが共に楽しめる場所として，様々な形で参加し趣味，特技を発揮する場（菓子作り，楽器に合わせ歌声喫茶，マジックなど）としても，大いに活用できる「場」にしたいです。

他のサロンにはない特徴

◉居住者全体で高齢者を見守り，支え合う体制を創るために，喫茶という形が最適と考えました。日常的な憩いの場との併合でメリハリをつけ，シルバーリハビリ体操や，行政が行う健康相談などを取り入れ，魅力あるサロンにしたいです。

サロンのＰＲポイント

◉本年７月に「喫茶」を施行，３時間で約50人の参加者が有り，会話も弾み，良い感触を得ました。手作りケーキも好評，次を期待する声も多い。サロンを楽しむ潤滑油として，遊具，簡単な健康器具などを必要と考えています。

委員からの一言コメント

「ミツバ・サロン」は光葉団地居住者間の「きずな」を活性化するために，様々な人が集まり会話のできる拠点として開設されました。

訪問した時は，「喫茶　みつばの風」の開催日でした。会場内に入ると，６種類の手作りケーキや数種類の飲み物が用意され，しかも費用は参加費の100円のみ…。

このサロンは，開設時間内なら好きな時間に来て好きな時間の過ごし方をしてもらうという方法。だから特にプログラムが用意されているわけでもないが，参加者は回を追うごとに増えているとのことです。このような居場所を多くの人が必要としている証拠なのでしょう。住民の孤立やとじこもり・つながりの希薄化は，他の団地でも課題の一つなっています。その課題を解決しようとしているこの「ミツバ・サロン」の活動を，今後も注目していきたいと思います。（事務局　中村英一）